

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24.5～28.5℃台を示し、平年並み～やや低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の3.3倍（前年並み）。五島奈留地区では、ゴマサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり41kgの水揚げで、前週の80%（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり1.9トンの水揚げで、前週の77%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、漁が再開されマアジなどが1日1統当たり193kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり2.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、アジなどが1日1統当たり325kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり138kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり133kgの水揚げで、前週の3.7倍（前年を上回った）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり26kgの水揚げで、前週の3.7倍（前年並み）。
- 延縄――北松小値賀地区では、キダイなどが1日1統当たり64kgの水揚げで、前週の64%（前年を上回った）。
- ビバ船曳――北松生月地区では、小トビ主体で1日1統当たり300kgの水揚げで、前週の約2倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/30～9/4）6日間の沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣り船 5日延29隻入港、総計1,914箱、1航海最高200箱、平均66箱、ケンサキ（2立～4立入）1,914箱。

（漁業情報サービスセンターより）